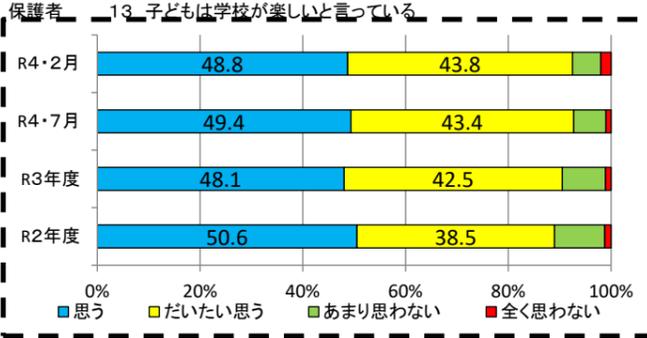


# 令和4年度 学校評価結果のまとめ

保護者の皆さんからいただいたアンケート結果です。

## 指標「学校が楽しい」について

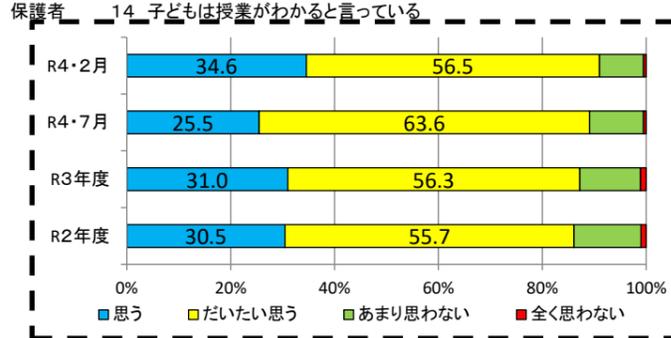


# (保護者アンケート・児童アンケートから)

今年度2月と7月に実施したものと、過去2年の年度末に実施したものをグラフに表しました。

## 確かな学力の育成について

### 指標「授業がわかる」について



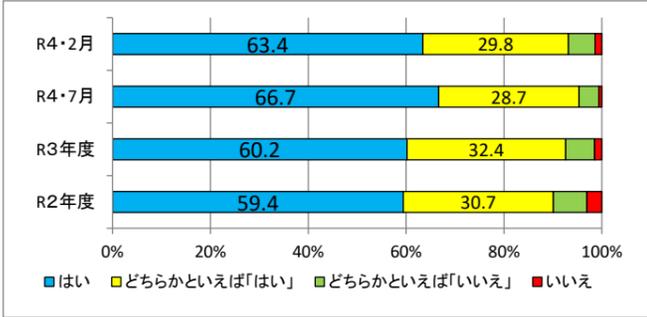
# 一宮市立丹陽南小学校

「学校は楽しい」について、児童の学校生活の充実が、保護者から信頼される学校である上で最重要事項であると考えている。今年度まで増加傾向にあり、7月からは大きな変化は見られなかった。安心して生活できるようになってきていると言える。しかし、若干数が学校を居心地の良い場所と感じていないこともうかがえる。職員がさらに子どもたちに寄り添い、子どもたちの願いを具現化していきたい。

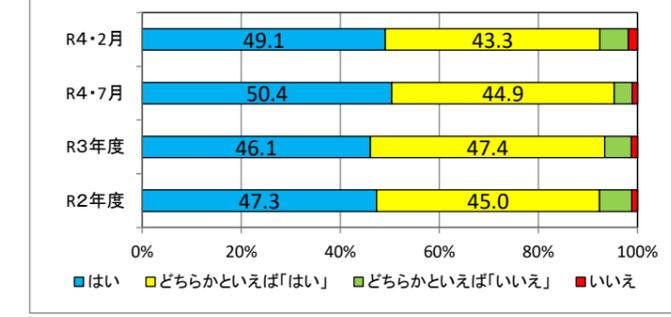
学校行事やペア集会についても、実施することが楽しみの一つになっている。特にペア集会では、児童会主催の活動に全校児童が楽しんで参加する様子が見られた。

学校の授業については、7月に比べ、「わかる」という児童が微減している。CRT学力検査の結果をもとに客観的に弱点の把握をし、復習に力を入れていきたい。児童は、「先生の話や友達の発表」に傾聴できるようになってきており、学習に意欲的な様子は7月と変わらない。今後も一人一人が学習面において充実感がもてるようにしていきたい。

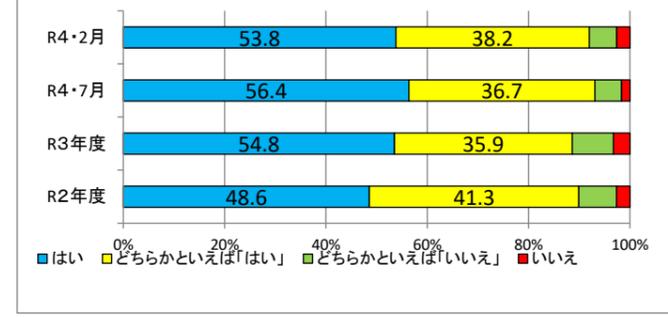
## 児童 1 学校は楽しい



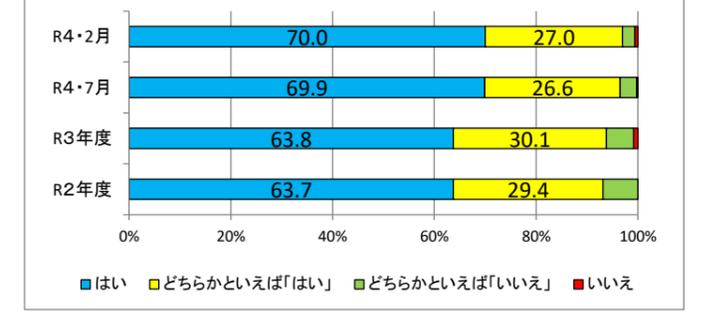
## 児童 2 学校の授業がわかる



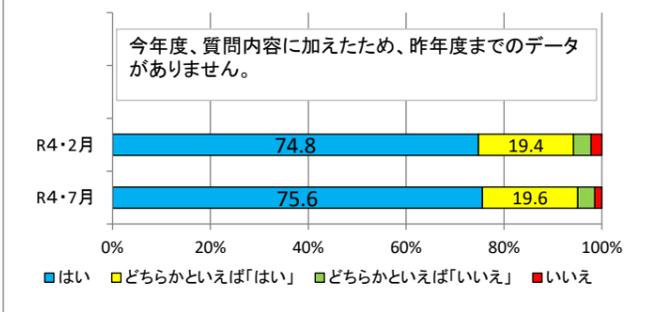
## 児童 15 国語の授業はわかる



## 児童 3 先生の話や友だちの発表を聞くことができる

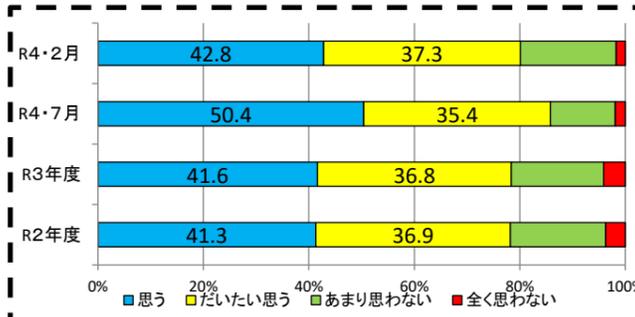


## 児童 4 学校行事やペア集会は楽しい

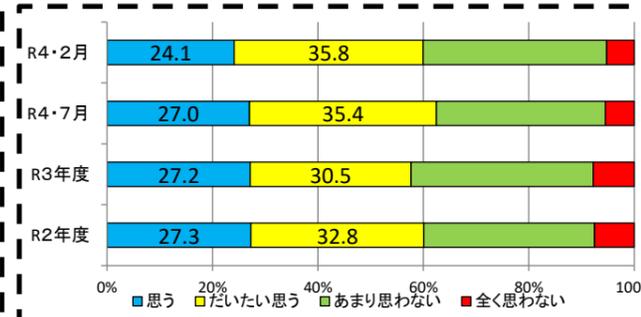


## 指標「音読に取り組んでいる」「漢字・計算チャレンジに取り組んでいる」について

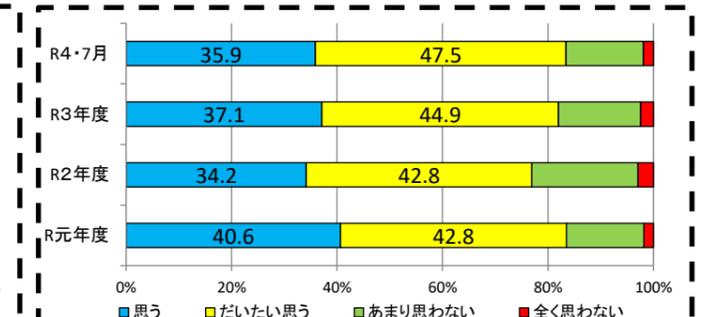
### 保護者 15 子どもは音読に取り組んでいる



### 保護者 16 子どもは本を読んでいる



### 保護者 23 子どもは漢字・計算チャレンジに取り組んでいる



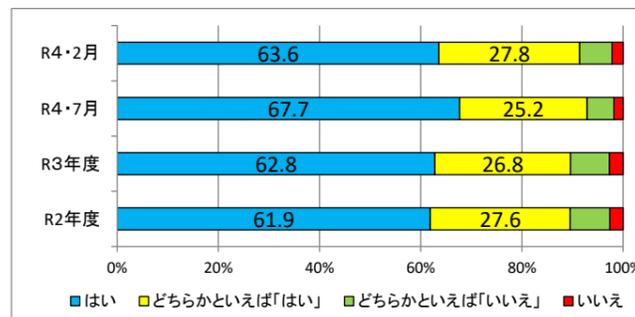
「音読に取り組んでいる」「本を読んでいる」については、7月に比べ、減少している。音読や読書、漢字や計算は、すべての学習の基本となる大切なことである。児童がそれらに、自主的・自発的に取り組むことができると、自ずと児童の学ぶ力も向上してくと考える。

音読については、「読む」力の原点ともなる学習である。文章の内容を理解する、語彙を増やすといった音読の意義を再度確認していきたい。また、国語のみならず、他の教科でも音読により理解を深める機会を設けていきたい。

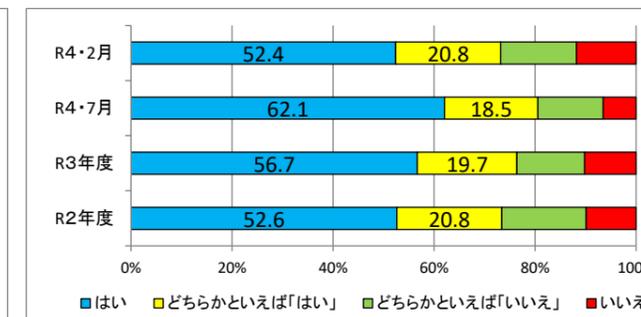
読書については、実際に3学期の貸出冊数が減っている。なわとび集会の取り組みと重なり、図書館へ足を運ぶ機会が減ったことも考えられる。児童にとって、「本を読む」という行為が、環境を整えてもらい、与えられるものとなっていることがうかがえる。学校では、引き続き読書活動を推進し、図書館指導のさらなる充実を図り、児童が本に親しむことのできる環境を整えていきたい。

今後も家庭の協力を得ながら、日々の取り組み、家での読書、基礎基本の定着に向けた取り組みを伝えていきたい。

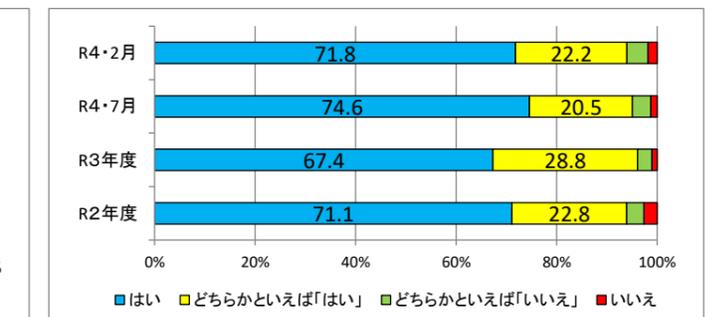
## 児童 17 音読に取り組んだ



## 児童 18 本を読んだ



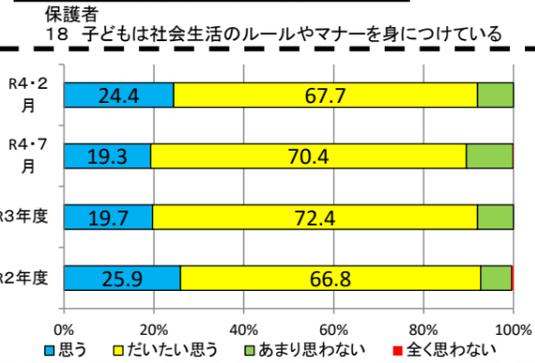
## 児童 16 漢字・計算チャレンジに取り組んだ



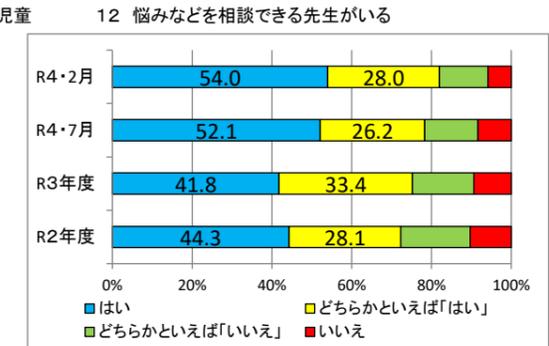
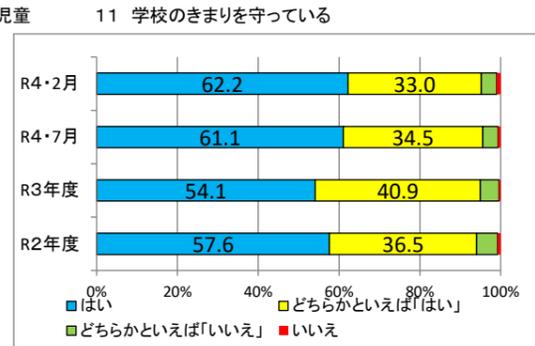
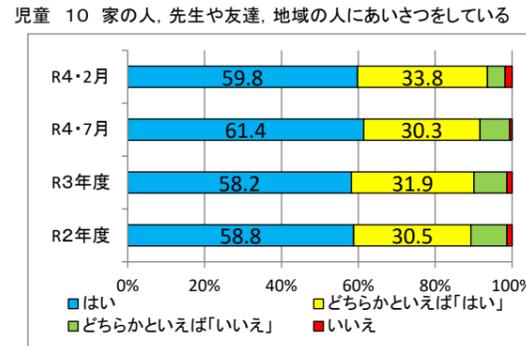
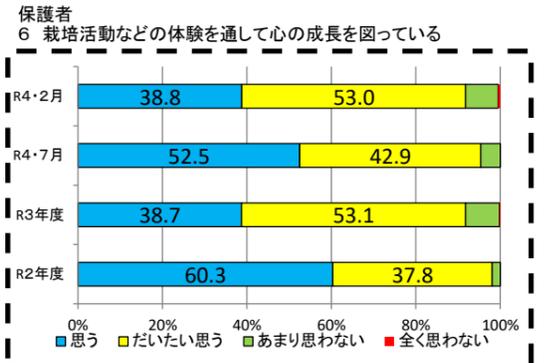
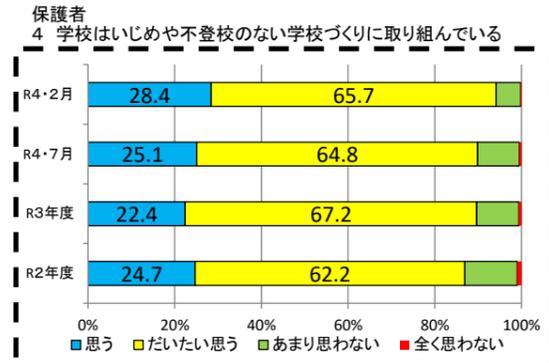
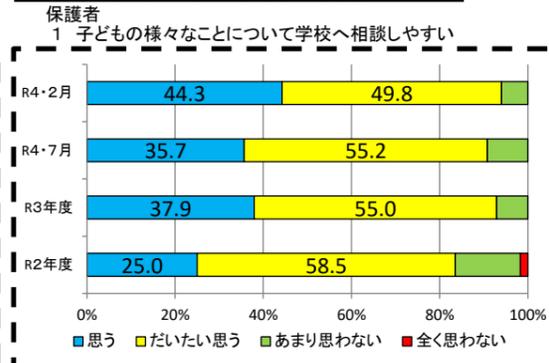
**豊かな心の育成について**  
**指標「あいさつをしている」について**



**指標「きまりを守っている」について**



**指標「いじめのない学校づくり」について**



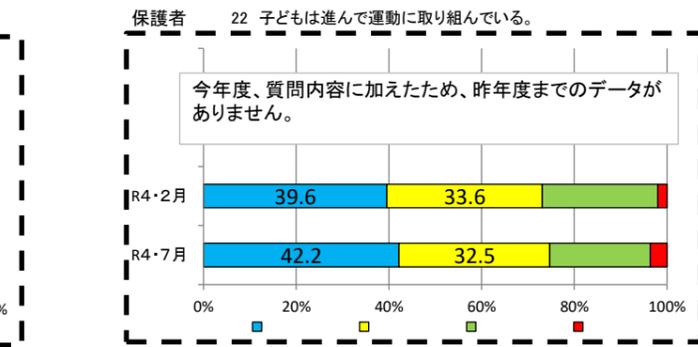
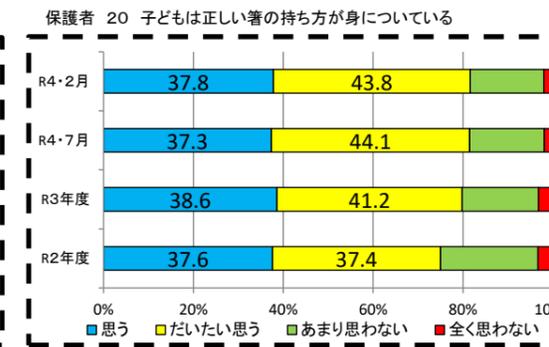
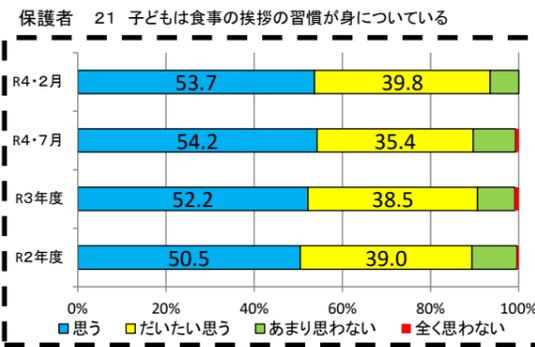
「あいさつをしている」について、依然として、児童と保護者の意識に大きな開きがある。今年度も児童会役員や代表委員、生活委員が中心になってあいさつ運動を展開してきた。児童のアンケートでは、微増しているものあいさつをする児童が固定化してきているように感じる。あいさつは「自分から」「目を見て」あいさつできるよう、引き続き、児童への意味指導をし、今後も家庭・地域の協力を得ながら進めていきたい。

「きまりを守っている」についても保護者と児童の意識に大きな開きがあるが、7月と比べると微増している。今後もルールやマナーの意味を考えさせながら、児童に理解させた上で指導をしていきたい。また、今後も、地域の中で児童を育てていくという考えのもと、様々な場面で協力を得ていきたい。

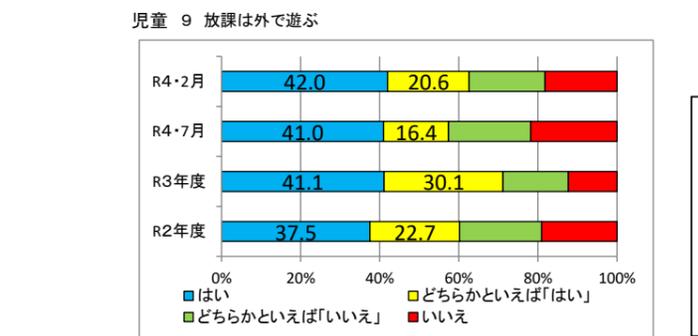
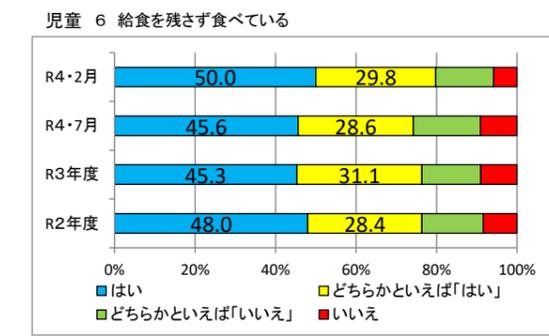
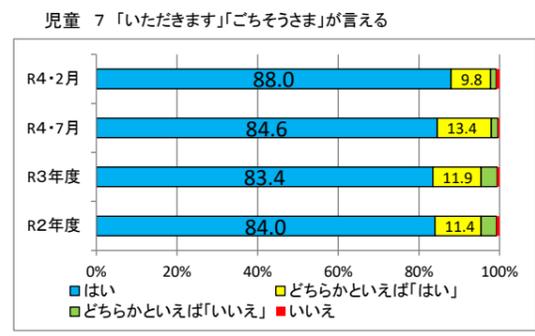
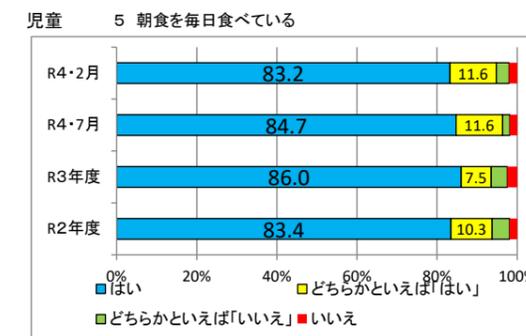
「いじめのない学校づくり」について、子どものことについて学校に相談しやすいという保護者の意識が7月に比べ、増加している。今年度は、児童が悩みを話しやすい環境を目指し、担任のみならず、話しやすい大人に相談していけるように促してきた。今後も継続していきたい。また、特別の教科「道徳」の時間を充実させるだけでなく、学校生活全体で心の教育を進め、いじめのない学校づくりを目指していきたい。

栽培収穫活動について、季節にもよるが、各教科での栽培活動は引き続き行っていく。また、給食指導・栄養教諭による食育指導を通して、豊かな心の育成に努めていきたい。

**健やかなからだの育成について**  
**指標「朝食を食べている」などについて**



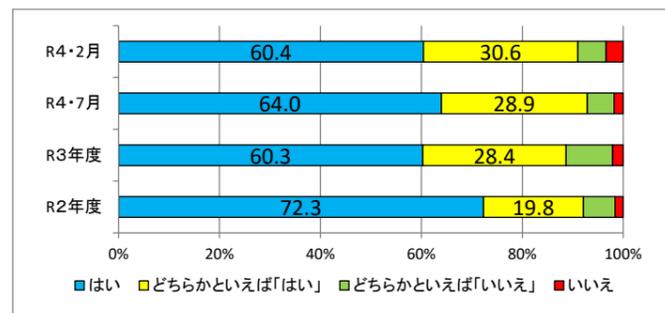
「朝食を食べている」「食事の挨拶」「マナー」などについて、今後も家庭の協力を得ながら、児童の健やかな体の育成を進めていきたい。



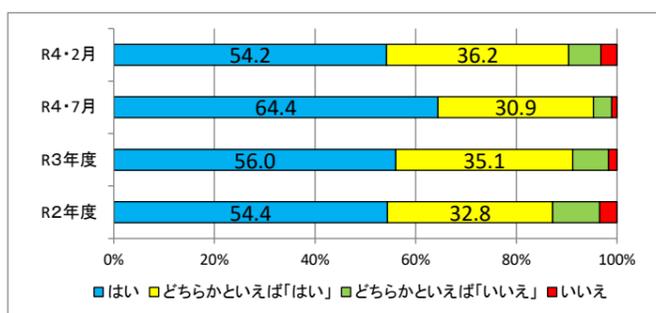
児童が進んで体を動かしているという意識については、保護者と児童との間に7月と同様、大差はなかった。3学期は、なわとび集会に参加し、体力向上に努めることができている。今後も、健康安全に努めながら、適度な運動が行えるようにしていきたい。

## 未来に生きる力の育成について 指標「英語の授業は楽しいなどについて」

児童 19 英語の授業は楽しい



児童 9 節水や節電に心がけている



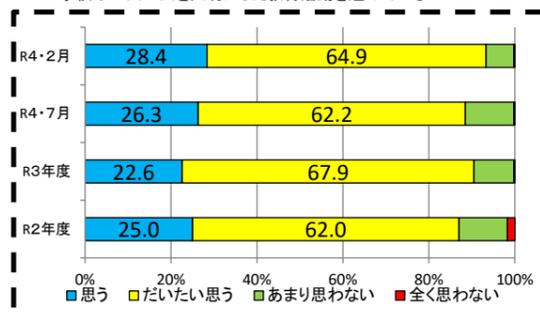
今年度もALTと担任で協力しながら進めていた。5・6年生については、英語を書いたり、話したり、聞いたり中学校の英語の素地を養う活動が多い。今後も楽しみながら学びに向かえるようにしていきたい。

「節水や節電に心がけている」では、「心がけている」「どちらかといえば心がけている」と回答した割合がやや減少している。今後は、コロナ禍の手洗い方法で希薄となった節水の意識を取り戻していけるように指導していきたい。また、節電についても、一般社会の情報と結びつけながら、子どもたち自身が考えられるようにしていきたい。

## 信頼される学校づくりについて

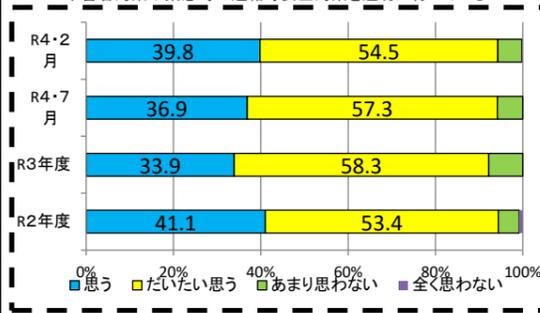
保護者 5 学校は一人一人を大切に教育活動を進めている

「学校は一人一人を大切に教育活動を進めている」について、これまで同様の評価をいただいた。今年度は、感染症対策を講じながら、集団で行える行事も少しずつ行ってきた。集団の中の個を大切にしながら、今後も保護者の意見に耳を傾けていきたい。また、行事の見直しを図り、よりよい教育活動・学校行事を進めていきたい。

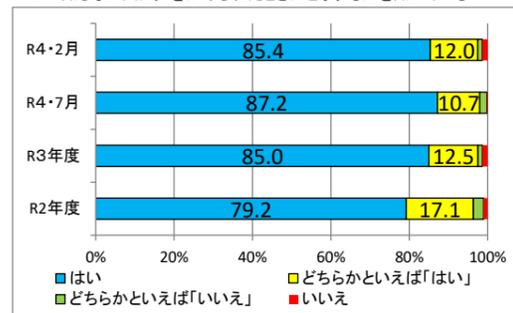


## 指標「安全対策を適切に行っている」「知らない人に声をかけられたときにどうするか知っている」などについて

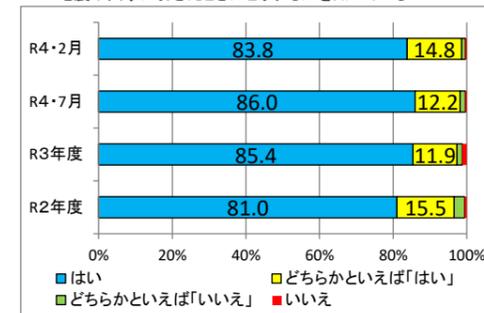
保護者 9 不審者対策や緊急時の連絡等安全対策を適切に行っている



児童 13 知らない人に声をかけられたときにどうするかを知っている



児童 14 地震や火事がおきたときにどうするかを知っている



児童の安全が学校運営上第一と考える。学校では日頃から様々な状況をシミュレートし、適切な対応が取れるようにしてきた。具体的に、3学期の避難訓練では、教師誘導型の訓練ではなく、子どもたち自身が考えて行動できるような訓練を行った。今後もあらゆる場合を想定し、自分のみは自分で守る意識を高めていきたい。また、KYTなど、来年度も継続的に実施していく。さらに、学校、家庭、地域で今後も協力し、児童の安全・防災意識を高めていきたい。また、職員の意識を高めるための研修も行っていきたい。

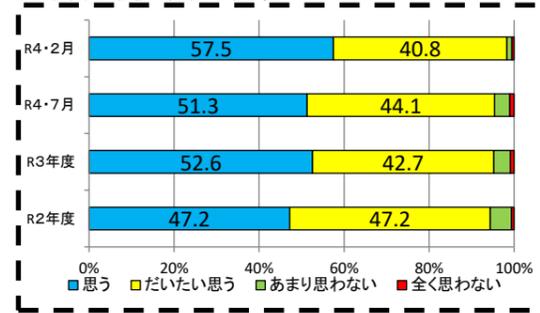
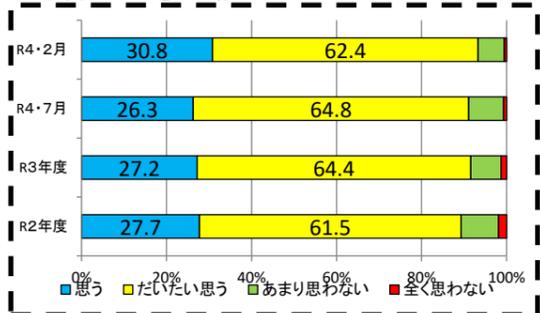
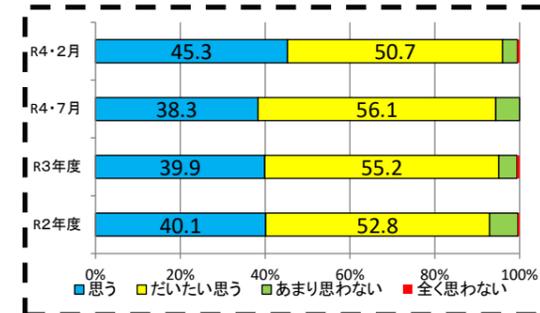
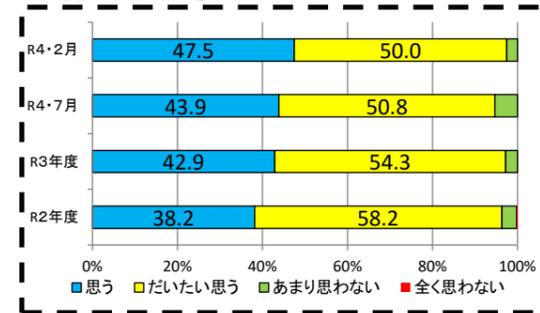
## 指標「子どもをよく理解している」などについて

保護者 2 学校は活動の様子を分かりやすく伝えている

保護者 7 教職員は子どものよい点や努力したところを評価している

保護者 11 教職員は子どもをよく理解している

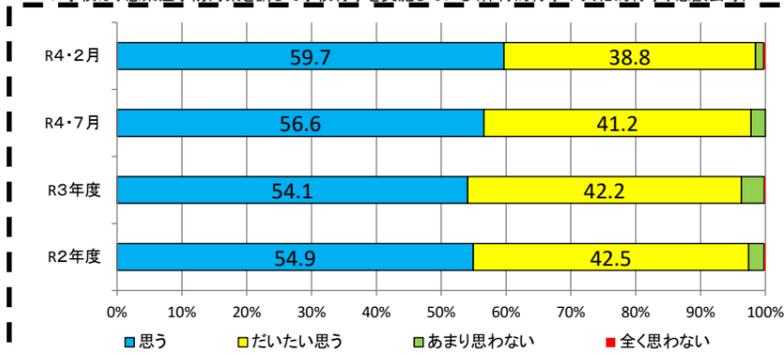
保護者 12 教職員は挨拶や言葉遣い、服装が適切である



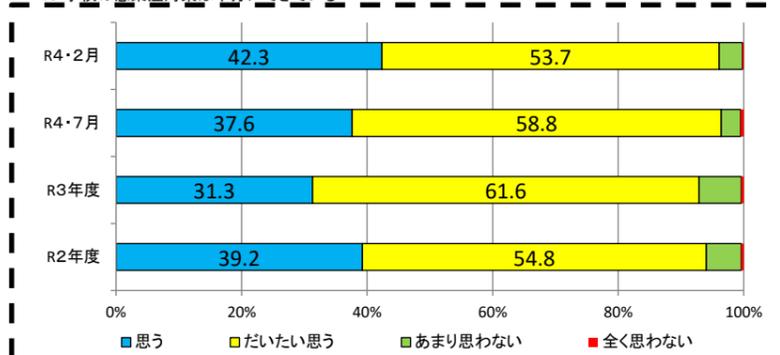
「子どもをよく理解している」については、7月と比べ、微増した。しかし、「あまり思わない」「全く思わない」の回答もあるため、児童や保護者の方の思いをしっかりと受け止め、来年度も教育活動を進めていきたい。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、様々な行事を行ってきた。保護者の参観人数の制約もあったが、児童の安全面への配慮を理解していただき、実施できたことはありがたい。また、来年度も学年通信や学校からのお便り、ホームページなどにより、家庭・地域に情報を伝えていきたい。

## 指標 感染症対策などについて

保護者 3 学校は、感染症予防対策を講じて学校行事を実施している(体育的行事や文化的行事、懇談会等)



保護者 10 学校の感染症対策は十分にできている



「新型コロナウイルス感染症対策」について、学校としてできる対策を講じながら、学校行事を進めてきた。保護者の方にもご理解いただきながらの一年間であった。9割以上の保護者が、「思う」「だいたい思う」と回答して下さったことについて、大変ありがたいと思う。